

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 NPO法人かながわ難民定住援助協会

1 事業の趣旨・目的

地域に住む外国人定住者にたいして、よりよい日本語ボランティアと学習ボランティア活動ができる人材を育成し、日本語ボランティア不足の補充を目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】①「日本語学習支援ボランティア養成講座」 ②「日本語ボランティア養成講座」

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
'09 年 9 月 8 日	当協会 事務所	6 名	① 「日本語学習支援ボランティア養成講座」 ② 「日本語ボランティア養成講座」	養成講座開始に当たっての趣旨説明と自己紹介と役割、講座内容の確認。
12 月 15 日	〃	〃	① 「日本語学習支援養成講座」を振り返って ② 「日本語養成講座」の実習に向けて	① 進捗状況と受講生の感想について。 ② 実習の内容と進め方について
'10 年 2 月 2 日	〃	〃	① 「活動に向けての準備」 ② 「実習にあたって」	① 活動について ② 協力体制作りと担当の決定などの報告
3 月 5 日	〃	〃	① 「事業の振り返り」 ② 「実習の実習生」	① 講座全体について ② 実習生の募集

【写真】(会議風景の写真を1～2枚参考に添付して下さい。)

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名 ①「日本語学習支援ボランティア養成講座」

②「日本語ボランティア養成講座」

(2) 養成講座の目標： 地域の外国人定住者により良い日本語支援・学習支援ができる人材を育成し、ボランティア不足の補充を図る。

(3) 受講者の総数 40 人

(4) 開催時間数(回数) 96時間 (48 回)

(5) 参加対象者の要件 高校生以上の一般成人

(6) 受講者の募集方法: 地域自治体の広報紙やタウン誌に掲載を依頼する。

当協会の HP で募集を呼び掛ける

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

(7) 研修会場: 横浜市立いちよう小学校・いちようコミュニティハウス

横浜市泉区 泉ふれあいホーム

大和市立渋谷中学校・下和田の郷

(8) 使用した教材・リソース

①「日本語学習支援ボランティア養成講座」

教科書ワークブック(1年～6年)

「かんじだいすき」(一)～(六)

教科書(1年～6年)

講師作成資料

②「日本語ボランティア養成講座」

講師作成資料と病院、学校、緊急マニュアル、冠婚葬祭などの情報らし

(9) 講座内容

平成 21 年度上飯田日本語学習支援ボランティア養成講座
(平成 21 年 9 月 2 日～平成 22 年 1 月 20 日)

I.オリエンテーションと理論・実習コース 24回

No.	日付	内容	講師	受講者
1	9 月 2 日(水)	かながわ難民定住援助協会の概要 日本語学習支援ボランティア養成講座	関口	20
2	9 月 9 日(水)	外国にルーツをもつ子どもへの日本語支援とは（子どもの言語・文化背景、親について、何が日本の子どもと違うか等）	関口	20
3	9 月 16 日(水)	日本の学校生活について	関口	20
4	9 月 30 日(水)	日本語の構造	関口	20
5	10 月 7 日(水)	来日間もない子への指導①	関口	20
6	10 月 14 日(水)	幼いころから日本にいる子への指導① (作文、ドリル、読み聞かせ、発表会、教科、漢字)	関口	20
7	10 月 21 日(水)	幼いころから日本にいる子への指導② (作文、ドリル、読み聞かせ、発表会、教科、漢字)	関口	20
8	10 月 28 日(水)	幼いころから日本にいる子への指導③ (作文、ドリル、読み聞かせ、発表会、教科、漢字)	関口	20
9	11 月 4 日(水)	幼いころから日本にいる子への指導④ (作文、ドリル、読み聞かせ、発表会、教科、漢字)	関口	20
10	11 月 5 日(木)	実習開始にあたって	関口	20
11	11 月 5 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」、読み聞かせ	関口	20
12	11 月 11 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」、読み聞かせ	関口	20
13	11 月 12 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
14	11 月 18 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
15	11 月 19 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
16	11 月 25 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
17	11 月 26 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
18	12 月 2 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
19	12 月 3 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
20	12 月 9 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
21	12 月 10 日(木)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
22	1 月 6 日(水)	算数・国語各学年教科書ワーク、「かんじだいすき」読み聞かせ	関口	20
23	1 月 13 日(水)	作文発表会準備	関口	20
24	1 月 20 日(水)	作文発表会	関口	20

日本語ボランティア養成講座プログラム
(平成 21 年 11 月 26 日～平成 22 年 3 月 29 日)

回	月 日	内 容	講師	受講者
1	11 月 26 日(木)	オリエンテーション講座の概要について	広瀬	20
2	11 月 30 日 (月)	日本語ボランティア養成講座—理論編	広瀬	20
3	12 月 3 日 (木)	① 音声から文字へ—ひらがなの表記	広瀬	20
4	12 月 7 日 (月)	② 音声から文字へ—ひらがなの表記	広瀬	20
5	12 月 10 日 (木)	生活のなかの漢字——漢字の教え方	広瀬	20
6	12 月 17 日 (木)	分析① 外国人が生活の中で必要な読み書き—ゴミの分別	広瀬	20
7	1 月 14 日 (木)	分析② 外国人が生活の中で必要な読み書き——お礼状	広瀬	20
8	1 月 18 日 (月)	分析③ 外国人が生活の中で必要な読み書き——お礼状	広瀬	20
9	1 月 21 日 (木)	分析④ 外国人が生活の中で必要な読み書き—緊急マニュアル	広瀬	20
10	1 月 25 日 (月)	分析⑤ 外国人が生活の中で必要な読み書き—病院	広瀬	20
11	1 月 28 日 (木)	分析⑥ 外国人が生活の中で必要な読み書き—学校からの お知らせ、届け	広瀬	20
12	2 月 1 日 (月)	分析⑦ 外国人が生活の中で必要な読み書き—冠婚葬祭	広瀬	20
13	2 月 4 日 (木)	実習にあたって (協力体制づくりと担当の決定等)	広瀬	20
14	2 月 8 日 (月)	実習準備 ①病院	広瀬	20
15	2 月 18 日 (木)	実習 ①病院	広瀬	20
16	2 月 25 日 (木)	実習準備 ②学校からののお知らせ、届け	広瀬	20
17	3 月 1 日 (月)	実習 ②学校からののお知らせ、届け	広瀬	20
18	3 月 4 日 (木)	実習準備 ③緊急マニュアル	広瀬	20
19	3 月 8 日 (月)	実習 ③緊急マニュアル	広瀬	20
20	3 月 11 日 (木)	実習準備 ④冠婚葬祭	広瀬	20
21	3 月 15 日 (月)	実習 ④冠婚葬祭	広瀬	20
22	3 月 18 日 (木)	実習準備 ⑤アンケート	広瀬	20
23	3 月 25 日 (木)	実習 ⑤アンケート	広瀬	20
24	3 月 29 日 (月)	全体を振り返る	広瀬	20

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 両講座とも今後の地域の日本語・学習室支援の先駆的な内容となっており、受講者にとって、より良い日本語ボランティア活動ができると期待している。
- ・ 両養成講座とも良い人材が育ち今後の活動の活性化が期待できる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 「日本語学習支援ボランティア養成講座」を今後も計画し、地域の外国人定住者や児童生徒を対象に集中して学べる「日本語学習室」を開いて、親子共々、学校生活への理解を深め、楽しく過ごせるよう、サポートをしたい。
- ・ 「日本語ボランティア養成講座(読み書きを主体とした)」を地域ごとに開いて、日本語ボランティア教室の授業時間(週一回 2 時間)と日本語ボランティア教室に適した授業内容である、外国人定住者への生活情報の提供と学習者、それぞれの国の文化習慣などをボランティア、と学習者が学び合うことで、外国人定住者が地域での自立定住の促進が図れる活動を目指とする日本語ボランティアグループを育成したい。
- ・ その他、日本語の集中講座(通年)で指導できる人材を育成し、外国人定住者が地域の社会資源となるような環境作りを図りたい。

(11) 事業の成果

- ・ 他事業との連携： 傘下の日本語教室、学習室事業への人材補充と交流。
- ・ 研修後の人材活用： 傘下の日本語・学習室グループを紹介し、活動に参加を促す。

(12) 今後の課題

日本語ボランティア、学習支援ボランティアのレベルアップと人材不足の解消。
財政難の民間支援団体にとって、貴庁の支援事業は貴重な財源だが、支援額の増額を切にのぞみたい。
特に講師謝礼の単価の引き上げを希望したい。
教材支援も考慮してほしい。